

戸畑区自治会だより

発行年月日 平成30年1月1日
発行 北九州市戸畑区 千防一丁目1番1号
北九州市戸畑区自治総連合会
(戸畑区役所コミュニティ支援課内)
発行責任者 会長 永井 博文
電 話 871-1501(代)



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、穏やかで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より戸畑区自治総連合会並びに市民防災会連合会にご支援、ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

平成29年を顧みますと、一昨年の熊本地震につき、九州各地で多くの災害がもたらされました。とりわけ7月に発生した九州北部豪雨により、多くの人命や家屋が失われたことは記憶に新しいところです。

戸畑区自治総連合会は、被災された方々の一日も早い復



謹んで初春のお慶びを申し上げます。

戸畑区自治総連合会並びに市民防災会連合会の会員の皆様には、日ごろから市政の推進にご協力を賜り、地域の防犯・防災、町内美化や見守り活動など「安全・安心なまちづくり」にご尽力をいただいておりますことに対し、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、7月には、ユネスコ無形文化遺産に登録後初となる「戸畑祇園大山笠競演会」が例年より会場を拡大し多くの皆様にご来場いただき、盛大に開催されました。今後も世界に誇る祭りとして

興を願い、7月に行われた理事会で義援金を募ることを決定し、各地区で集められた義援金約115万円は日本赤十字社を通じて被災地へお送りしました。会員の皆様には義援金にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。

また、被災の現状や復興に向けた取り組みを学ぶため、11月に朝倉市ならびに東峰村を視察しました。被災現場は誠に厳しい状況でした。この視察研修で学んだことを今後の地域防災活動に役立て、より一層災害時の連携対応や住みやすい地域づくりのための活動に鋭意取り組んでいく所存であります。

新しい年を迎えて、戸畑区自治総連合会・市民防災会連合会は、防災や防犯に対して高い意識を持ち、活動への参加の輪を広げ、誰もが住みやすいまちづくりができるよう努力してまいります。会員の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年が皆様方にとって、健康で多幸な年になりますよう祈念しまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成30年 元旦

して、地域の活性化につなげてまいりたいと思います。

また、11月には、北九州市立美術館本館がリニューアルオープンし、記念イベントとして2月4日まで「ターナー展」を開催しております。是非この機会に多くの皆様にご来場いただき、素晴らしい美術品に触れていただきたいと思います。

さらには、旧安川邸につきましても、専門家や市民の代表から広くご意見を伺いながら、引き続き整備を進めていくことになっております。

新しい年を迎え、戸畑区の新たな展開に向けて、これら区の魅力を積極的に発信していき、区民の皆様とともに、区のまちづくりに取り組みでまいりますので、今後ともご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、戸畑区自治総連合会並びに市民防災会連合会のみならず、ご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念しまして、新年のごあいさつといたします。

平成30年 元旦

九州北部豪雨義援金へのご協力 ありがとうございました

昨年7月に発生した九州北部豪雨により被災された方々に対し一日も早い立ち直りを支援するため、戸畑区自治総連合会は同月の理事会で義援金を募ることを決定し、会員の皆様にご協力いただきました。9月までに集まった総額115万6410円は日本赤十字社を通じて被災地へ送られました。各地区会員の皆様には義援金にご賛同いただき、誠にありがとうございました。



地区	金額(円)
東戸畑	29,085
西戸畑	77,400
牧山	58,408
牧山東	79,317
天籟寺	136,500
大谷第1	65,400
大谷第2	90,000
粕ヶ谷・福柳木	81,300
東一枝	36,600
西一枝	70,500
東中原	97,800
西中原	13,000
三六	0
北沢見	57,500
南沢見	75,600
浅生	188,000

平成29年度合同役員視察研修

11月7日(火)、8日(水)に戸畑区自治総連合会、戸畑区環境衛生協会連合会、戸畑区市民防災会による合同役員視察研修を行いました。

初日は大分県臼杵市役所で環境の取組を学習し、九州で初めて建設された屋根付埋立処理場を見学しました。

2日目は朝倉市や東峰村にて、7月に発生した九州北部豪雨の被害状況を視察しました。東峰村役場の方に被災場所をご案内いただき、自然災害の怖さを学ぶと共に、改めて近隣とのコミュニティや防災体制の重要性を認識させられました。



降水量 測定結果

戸畑区自治総連合会は北九州市環境局へ降水ばいじん量の測定結果について報告を要請し、昨年9月から定期的に正副会長へ報告いただくこととなりました。戸畑区の環境改善に繋がるよう今後も測定結果を注視していきます。

平成29年度降水ばいじん量
月別測定結果 (単位: L/km²/月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均	H28平均
戸畑区	5.9	3.6	3.6	4.4	4.7	6.2	4.7	5.9
門司区	4.2	2.4	6.0	6.5	3.5	2.7	4.2	4.6
小倉北区	1.9	3.4	3.2	2.6	1.7	3.6	2.7	3.8
小倉南区	3.1	2.7	3.7	4.9	1.6	2.8	3.1	3.1
若松区	4.8	3.4	3.1	3.3	2.6	4.6	3.7	4.1
八幡東区	4.3	2.0	1.4	2.2	1.4	2.7	2.3	2.7
八幡西区	3.8	2.7	1.8	3.0	2.1	4.8	3.0	3.8
全市平均	4.1	3.0	3.1	3.7	2.4	4.0	3.4	4.0

赤い羽根共同募金

福岡県共同募金会北九州市戸畑区支会

ご協力ありがとうございました。

各地区自治会戸別募金総額

3,977,950円
(12月14日現在)

皆様からの貴重なご寄付は、地域の支えあいの活動から災害時の支援まで、「じぶんの町を良くする」活動に幅広く使用させていただきます。

謹賀新年

平成三十年元旦

戸畑区自治総連合会
戸畑区市民防災会連合会

会長 永井 博文
(北沢見地区会長)

副会長 野口 勝義
(西戸畑地区会長)

副会長 渡邊 登
(東中原地区会長)

会計 井手 國昭
(三六地区会長)

東戸畑地区会長 鈴木良次郎

牧山地区会長 森 義明

牧山東地区会長 江戸端憲一

天籟寺地区会長 三上 久恵

大谷第一地区会長 檜山 弘之

大谷第二地区会長 宮原 和三

粕ヶ谷・福柳木地区会長 坂本 吉憲

東一枝地区会長 石橋 義視

西一枝地区会長 坂本 三夫

西中原地区会長 佐藤 哲男

南沢見地区会長 原田 修

浅生地区会長 和泉 政良

平成29年7月九州北部豪雨 朝倉市や東峰村の被害を視察

平成29年11月7日(火)、8日(水)の二日間、戸畑区自治会連合会、戸畑区環境衛生協会連合会及び戸畑区市民防災会連合会の、三団体合同による視察研修を実施しました。

●朝倉市「三連水車」の被災状況
「平成29年7月九州北部豪雨」により大量の土砂や流木が押し寄せて被害を受けた、福岡県朝倉市にある国指定史跡「三連水車」ですが、地域住民や、朝倉市の尽力により、被災から約1か月後の8月2日、見事に復興を果たしました。

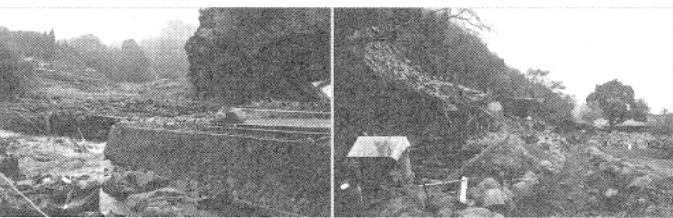
本来ならこの場所は、「三連水車」と合わせて美しい景色を楽しむことができ、観光スポットですが、周囲の田畑は土砂の流入により荒れた状態となっており、完全な復興への困難さを感じざるを得ない状況でした。



復興を遂げた「三連水車」

●東峰村での被災状況

東峰村役場からは、役場職員であり東峰村の観光推進協会の会長を務める小野氏と合流し、被災状況の説明を受けました。最初に訪れた「ほうしゅ学舎」は、上部で発生した土石流が砂防ダムを破壊して直撃し、原形を留めないほど完全に倒壊してしまいました。



「筑前岩屋駅」に散乱する巨岩

全壊した「ほうしゅ学舎」

●東峰村から学ぶこと

東峰村では残念ながら3名の方が亡くなりましたが、大きな被害が出てもおおしくない状況であったそうです。しかし、東峰村では6月に地域の防災避難訓練を実施しており、小野氏はその訓練が活かされたのではないかと話していました。実際に東峰村村民の防災訓練参加率は70%を超えており、地域住民の防災に対する意識の高さがうかがえます。

この未曾有の災害に対して隣近所が手を取り合い、素早い避難によって被害を最小限にすることができたのは、この地域に普段から住民同士の助け合いの関係ができていたことと、防災訓練の重要性を住民がしっかり理解し、災害時に正しく行動することができたからではないかと感じました。

昨年の熊本地震に続き、九州では大きな自然災害が立て続けに発生し、甚大な被害を受けました。

この豪雨災害では未だに行方不明の方もおられます。行方不明者の早期の発見と、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、今回の視察研修で学習した内容を今後の地域防災活動に役立てていきます。

謹賀新年

災害のない一年でありませうと
皆様方のご多幸とご健康を
祈念いたします

平成三十年 元旦

戸畑消防署長 谷延

正夫

戸畑区市民防災会だより

発行年月日 平成30年1月1日
発行 北九州市戸畑区 新池二丁目1番15号
北九州市戸畑区市民防災会連合会 (戸畑消防署予防課内)
発行責任者 会長 永井博文
電話 861-0119 (代)

市民防災会スローガン
向こう三軒両隣り
みんなで気配り助け合い

消防に関する相談
■消防訓練・救急講習などは
戸畑消防署
861-0119
戸畑消防署大谷分署
883-0119
■災害情報を聞きたいときは
トーカーサービス
582-1234

個人情報の不正聴取にご注意ください！

平成29年7月九州北部豪雨災害に便乗し、消防署を名乗って不正に世帯の情報を聞き出そうとする事案が発生しています。

また、水害調査だけでなく、防災グッズの配布や地震対策などを装い、同様に世帯情報を聞き出そうとする事案が市内で複数発生しています。

このような電話には答えず、電話を切った上で、消防署へ連絡をお願いします。

お問い合わせ 戸畑消防署予防課 ☎861-0119

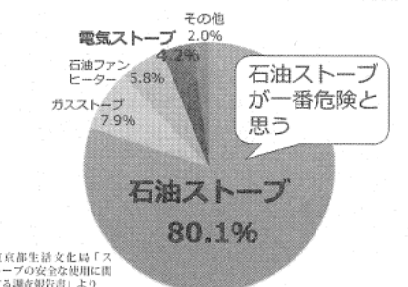
電気ストーブを安全に使おう！

「電気ストーブ」は火を使わないということで、火災になりにくいと思われがちですが、ストーブ火災の実態とは大きく異なります。

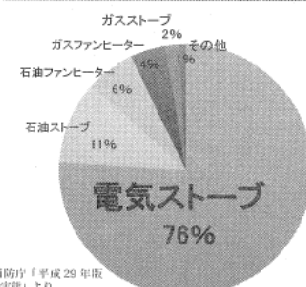
平成28年中の東京消防庁での調査の結果によると、なんとストーブ火災の75%以上が「電気ストーブ」からの出火ということでした。北九州市においても最近、「電気ストーブ」からの火災が増加しています。

電気ストーブの危険性を十分に理解し、安全に使用できるよう右のチェック表で確認してみましょう。

火災の危険が高いと思うストーブは？



ストーブからの火災の実態



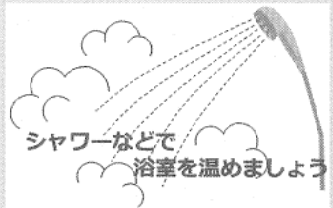
でも、その実態は…

冬場に多発する入浴時の事故 「ヒートショック」に注意！

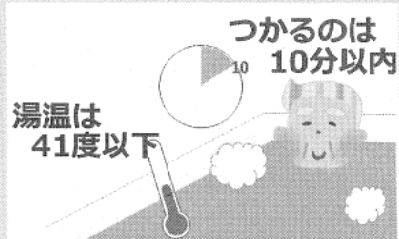
ヒートショックは、暖かい部屋から移動して冷えた脱衣所で服を脱ぐ場合など、体の外の気温が急に変化することで起こりやすく、脳卒中や心筋梗塞などを引き起こし、最悪の場合死に至ることもある症状です。高齢者は以下の点に注意しましょう。

入浴前に脱衣所や浴室を温めましょう

入る前に湯船をかき混ぜておくだけでも、蒸気により浴室の温度が上がり、予防効果があります。シャワーでお湯を張ることも浴室を温めるのに効果的です。



湯温は41度以下、つかる時間は10分まで



湯はあまり熱くしないようにし、脱衣所や浴室との温度差を急激にしないよう工夫しましょう。長風呂も要注意です。

浴槽から急に立ち上がらない

急に立ち上がると血管が一気に広がり、脳への血流が減って意識障害を起こすことがあります。手すりや浴槽のへりを使いゆっくり立ちましょう。

